

豊川市 園児の食生活アンケート結果まとめ

1 目的 家庭での食生活の実態を把握して、保育園給食の献立作成や食事支援をするうえでの基礎資料とする。

2 実施時期 令和7年9月1日から30日

3 調査方法 あいち電子申請届出システムによる回答

4 回答数 1,027名 (配布数2,333名 回収率44%)

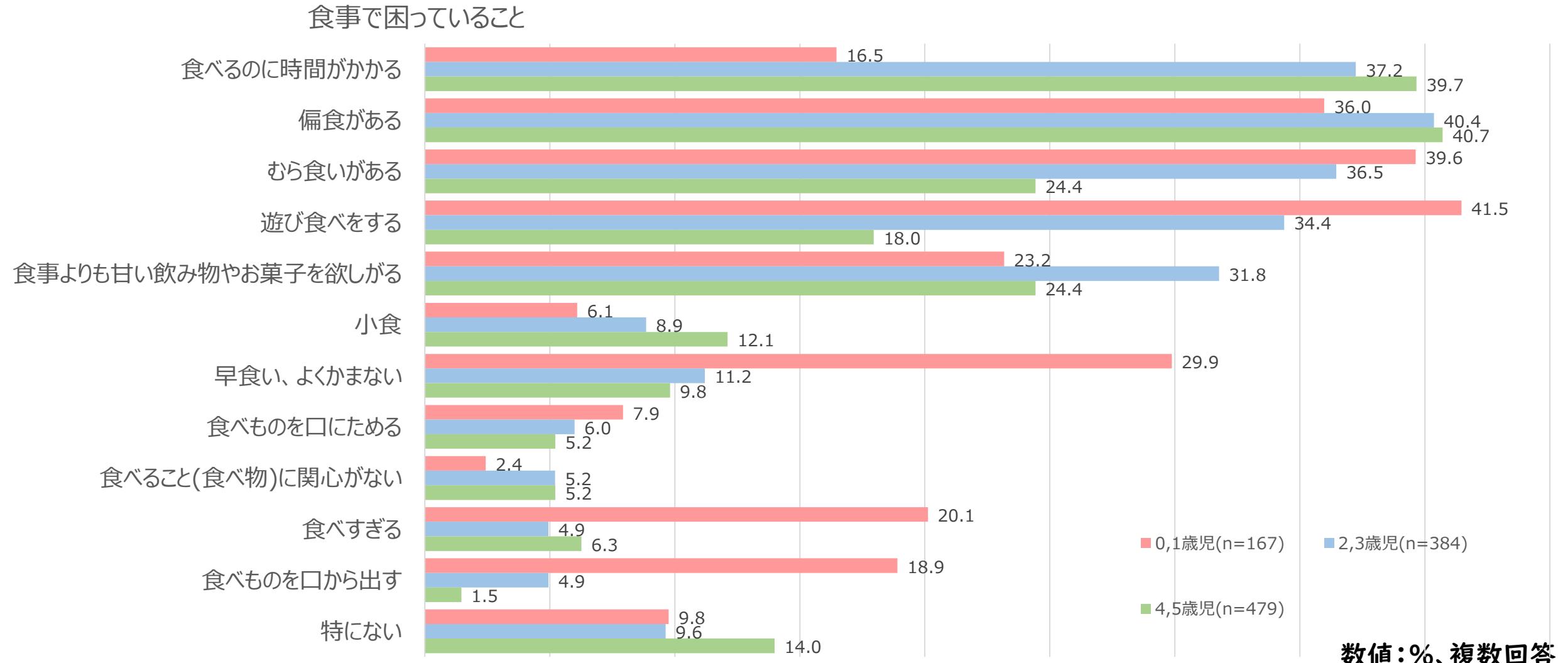
豊川市内保育園に通う0歳から5歳児保護者



子どもの食事で困っていること

年齢によって項目が分かれる

「特がない」は1割程度→約9割の保護者は子どもの食事の困り感がある

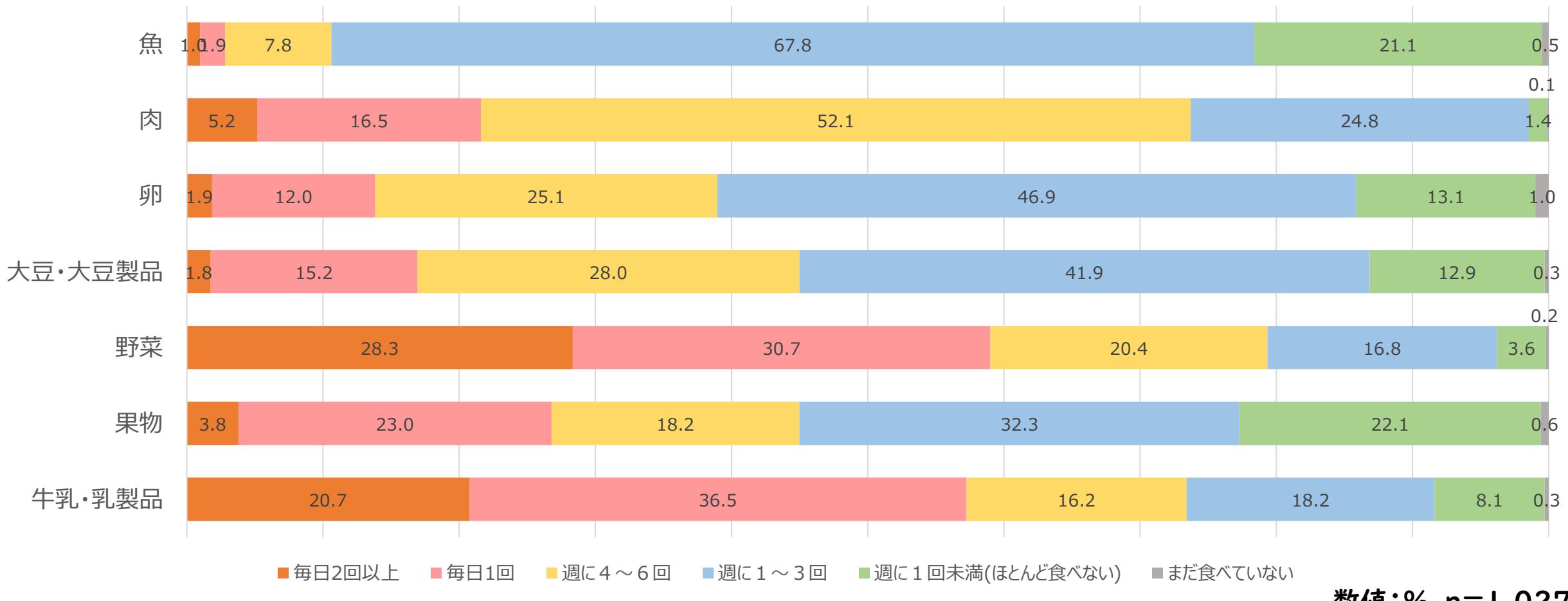


子どもの主要食物の摂取頻度

野菜、牛乳・乳製品は「毎日1回以上」が最も多いかった。

肉は「週4~6回」、魚、卵、大豆・大豆製品、果物は「週1~3回」が多かった。

子どもの主要食物の摂取頻度

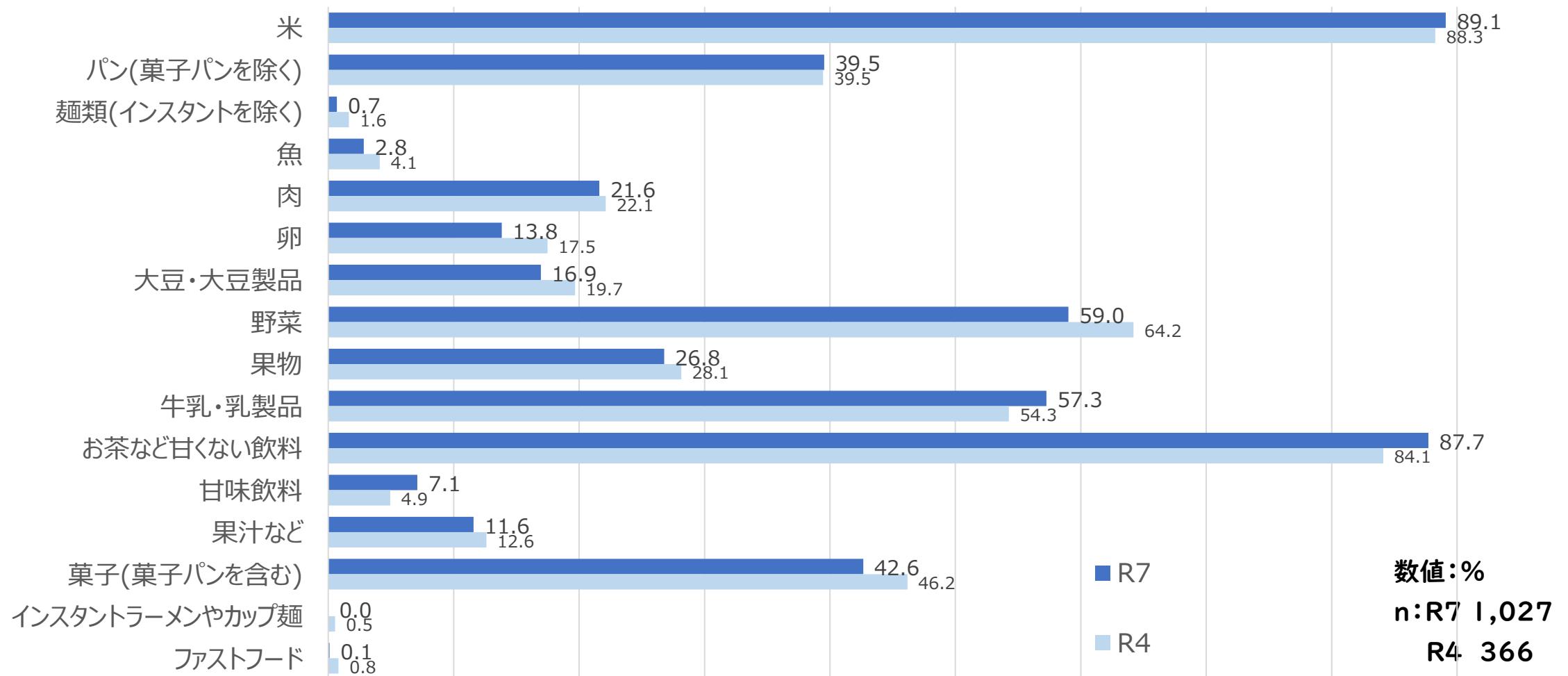


数値:%、n=1,027

食品群別 1日1回以上摂取する者の割合

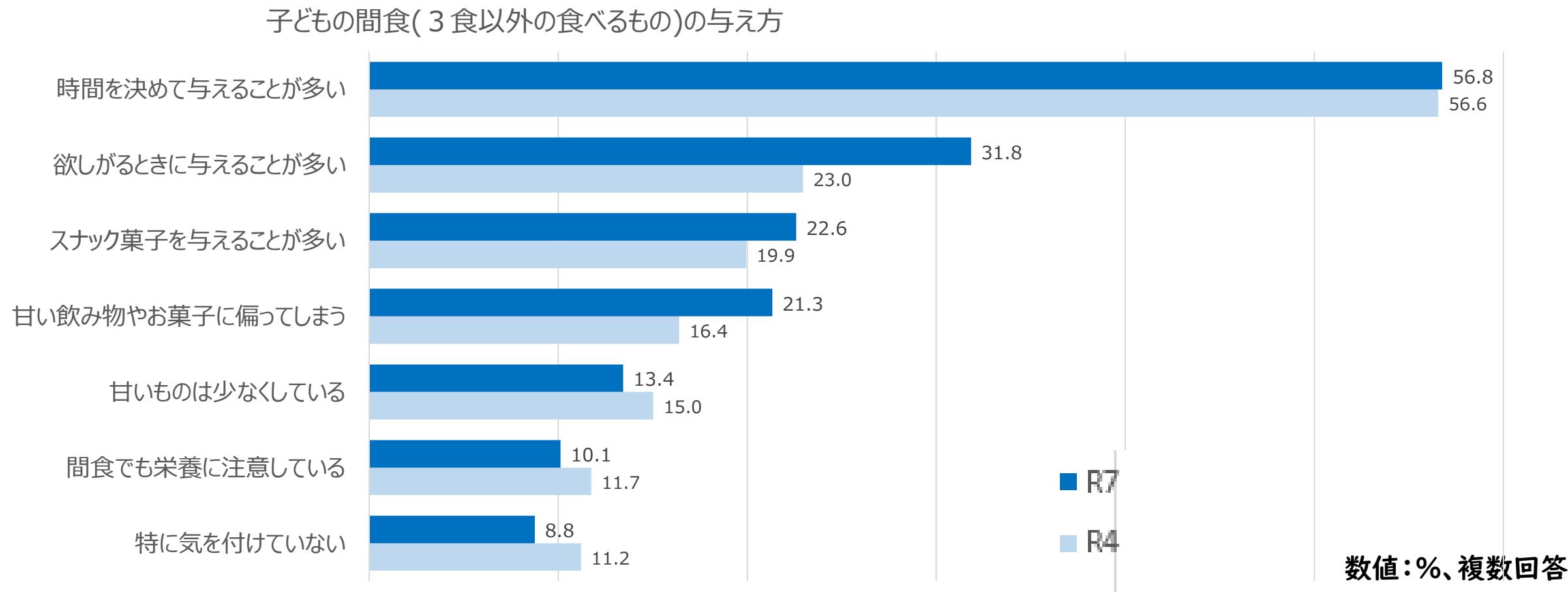
穀類、野菜、牛乳・乳製品の摂取は多いが、その他食品の摂取は、2~3割程度にとどまっている。特に魚の摂取がほかの食品に比べ、少なく、前回調査時よりも減少している。

1日1回以上摂取する者の割合



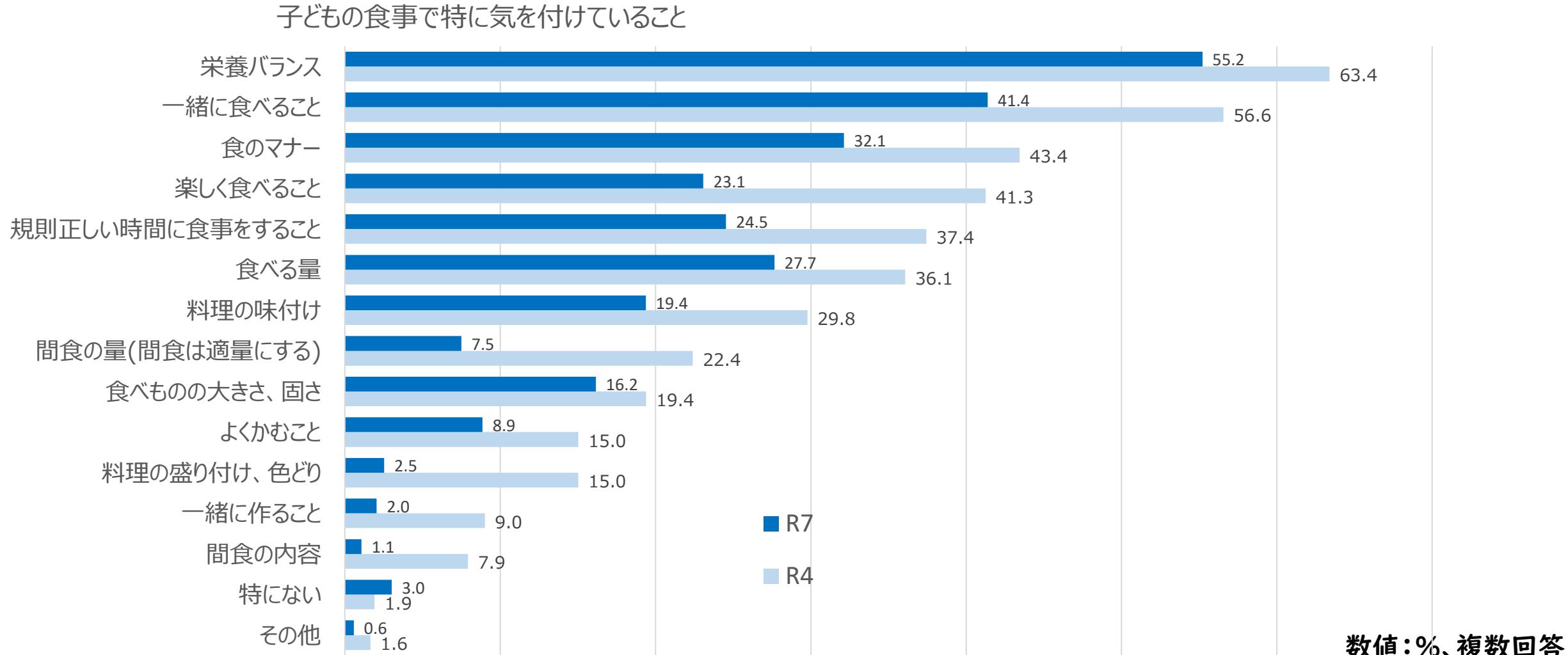
子どもの間食(3食以外の食べるものの)の与え方

「時間を決めてあげることが多い」が最も高かった。
→約4割は間食の時間を決めていない



子どもの食事で特に気を付けていること

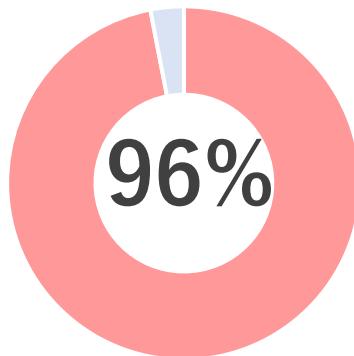
0~5歳児すべての年齢で5割以上が「栄養バランス」に気を付けている。
また、前回調査時に比べてすべての項目について回答数が減少している。



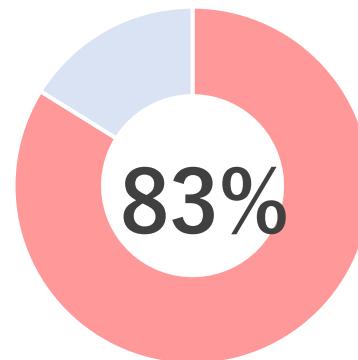
朝食・夕食を食べる習慣

9割以上の子どもは朝食を毎日食べていて、8割以上では家族の誰かと一緒に毎日朝食を食べていた。

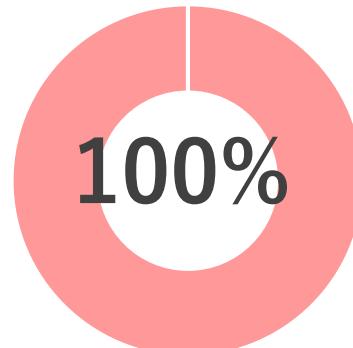
朝食をほぼ毎日食べる子の割合



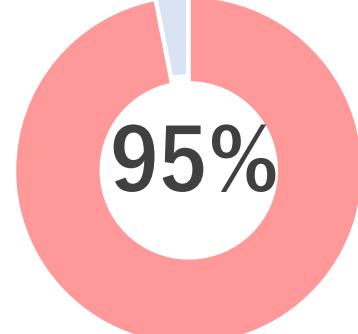
朝食を家族の誰かと一緒に食べる子の割合



夕食をほぼ毎日食べる子の割合

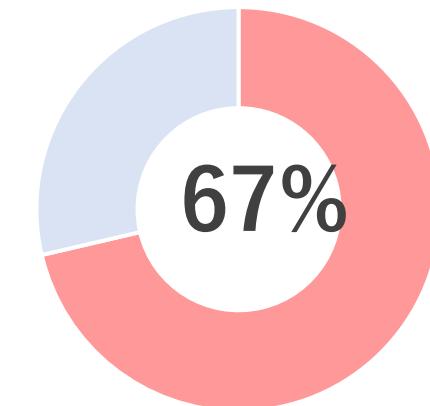


夕食を家族の誰かと一緒に食べる子の割合



毎日排便のある子

毎日排便のある子ども



2~5歳児では、3割程度で「週に2~3日に1回程度」排便があると回答していた。

まとめ

- ・献立作成

家庭での食事において、摂取頻度の少なかった魚は積極的に取り入れていく。

カルシウム源(魚、乳製品、大豆製品)の食品の摂取頻度が少ないため、積極的に取り入れていく。

家庭でも特に気を付けている項目の「栄養バランス、一緒に食べる、食事マナー、楽しく食べる」を重視した給食の提供に引き継ぎ取組んでいく。

- ・食事支援

食事で困りごとのある保護者は9割以上いたことから、園生活の中やおたよりで解決に向けた取組をしていく。